

お知らせ

去る3月11日の東日本大震災に伴う福島第一原発の事故により放射性物質の拡散が大きな問題になり、農産物の安全性をはじめとして各種検査が行われてきました。

高山村においても幼稚園の園庭や、小・中学校の校庭、農地の土壌検査、たかやま高原牧場の牧草、ホウレン草、ナス、枝豆、青刈トウモロコシ、今年産の米の検査などが実施され、すべてについて安全が確認されてきました。

そういった中で、去る8月23日から9月8日にかけて文科省と群馬県が共同で行った航空機によるモニタリング調査において、村内でも数値の高い地区が確認されたとの報告がありました。

更に、正確を期する為9月27日天文台駐車場、直売所駐車場、青少年自然の家グラウンド、合ノ沢橋、県道待避所（原）、ふれあいプラザ駐車場などで、地上における測定を実施したところ、おおむね航空機調査を裏付ける数値が計測されました。

翌9月28日村内3ヶ所で測定した数値については次のようになっています。

(単位；マイクロシーベルト)

	地 表	地上0.5m	地上1m
役場	0. 1 6	0. 1 1	0. 1 0
西地区スポーツ広場	0. 1 3	0. 1 1	0. 1 1
農産物直売所駐車場	0. 3 8	0. 3 2	0. 2 9

村としては、国の方針が定まらず、専門家の見解も異なる中で、今後の対応を協議してきましたが、10月11日細野環境大臣より、事故により被ばく線量が年1ミリシーベルト（毎時0. 23マイクロシーベルト）以上の地域を11月中に「汚染状況重点調査地域」に指定。自治体は国と協議しながら除染の区域や方法を決めるとの基本方針が示されました。

県内では、沼田市、東吾妻町、川場村、高山村、中之条町、みなかみ町の6市町村において、これに該当する地点が観測されています。

高山村としても国の方針決定を受けて10月13日計測を行った結果、次の数値となりました。

(単位：マイクロシーベルト)

	地上1m
原住民センター	0.140
本宿公民館	0.140
新田地区集会所	0.136
東地区スポーツ広場	0.175
五領公民館	0.100
高山中学校	0.142
高山幼稚園	0.100
高山小学校	0.115
高山村役場	0.102
役原地区住民センター	0.121
関田住民センター	0.077
西地区スポーツ広場	0.065
火の口公民館	0.079
北之谷住民センター	0.079
入沢口バス停留所	0.061
梅沢集会所	0.131
茶屋ヶ松公民館	0.175
合ノ沢橋	0.311

測定高さについては、国の基準(地上から1m)を採用した。

測定方法については、群馬県の方法を採用し整合を図った。

－実施概要－

測定器具を地上1mの高さに設置し、10秒間測定し測定値を得る。

これを5回繰り返す。5回の平均値を放射線量の測定値とする。

群馬県では10月12日、放射性物質汚染対処特措法に基づき、国の財政支援を受けて、除染する意向がある全市町村を調査することを明らかにし、申請市町村には県が事前の放射性物質検査で職員を派遣したり、検査機器を貸し出すなどの支援をするとの方針を発表いたしました。

高山村としては、今後皆様の安全・安心確保の為、国・県との協議を踏まえ、住民皆様との話し合いの中で最大限の努力をして参りたいと考えていますので、よろしくご理解の程お願い申し上げます。

取り急ぎ経過についてご報告申し上げます。

平成23年10月13日

高山村長 荒木 毅